

示現寺^{じげんじ}などの先人のきずいた多くの文化財^{ぶんかざい}や生活にうるおいや心にやすらぎを与えてくれる自然もそうです。わたしたちはこれらのものを将来にわたって残していかなければならないのです。

そのためには、どうすればよいのでしょうか。それは、日常^{にちじょう}からそれらのものに接^{せつ}していくことが大切ではないでしょうか。自分が生まれ育ってきた郷土^{きょうど}を愛し、発展^{はってん}を願わない人はいませんが、自分から進んで郷土をいろいろな角度^{かくど}や方法^{ほうほう}で学習^{がくしゅう}すること、つまり生涯^{しょうがい}学習^{がくしゅう}を実践^{じっせん}していくことによって、わたしたちの郷土のすばらしさがますます分かってくるものです。

まずは、村民憲章^{そんみんけんしょう}にかかげてある5つの心がまえからわたしたちの郷土をみつめなおしてみましよう。そうすれば、この熱塩加納村にとってなにが^{ひつよう}必要^{ひつよう}で、わたしたちはどうしていけばよいのかが少しずつ分かってくることでしょう。